

小学校4年生		*単元確認テスト①*	あたたかくなると
組	番	名 前	/10 点

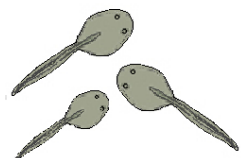
- 1 下の図は学校や家のまわりで見られる動物や植物のようすを調べたものです。春のようすを表すものを2つえらび記号を書きましょう。(1点×2)

ア (おたまじゃくし)

イ (バッタ)

ウ (サクラ)

エ (イネ)



ア

と

ウ

- 2 次の文は気温のはかり方について書いたものです。 にあてはまる言葉や数を入力欄の中からえらび、記号を書きましょう。(1点×4)

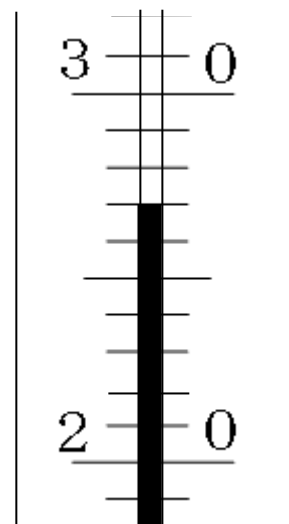
(1) 温度計のめもりは温度計と目をにして読む。

(2) 地面からくらいの高さではかる。

(3) 風通しのところではかる。

(4) 右の図のぼう温度計は℃をしめしている。

ア 1 m 20cm～1 m 50cm イ ななめ ウ 27
エ 2 m～3 m オ よい カ 12
キ わるい ク 直角 ケ 26 コ すずしい



- 3 冬から春になると、生きもののようすはどのように変わりますか。次の文のにあてはまる言葉を書きましょう。(1点×4)

(1) ツバメは、やねの下などにをつくり たまごをうみます。

(2) カマキリのたまごからがうまれます。

(3) 春になると冬とくらべて、校庭や野原で見ることができるこん虫や鳥の数が、ます。

これは気温がだんだんなってきたからです。



小学校 4 年生		* 単元確認テスト② *	動物のからだのつくりと運動
組	番	名 前	/10 点

1 次の文は人のからだについて書いたものです。□にあてはまる言葉を□の中からえらんで書きましょう。□の中の言葉は1回しか使えません。(1点×3)

(1) 人のからだをさわったとき、やわらかい部分には **きん肉** があります。

(2) 人のからだをさわったとき、いつもかたく感じる部分には **ほね** があります。

(3) かたい部分とかたい部分のつなぎめを **かんせつ 関節** といいます。

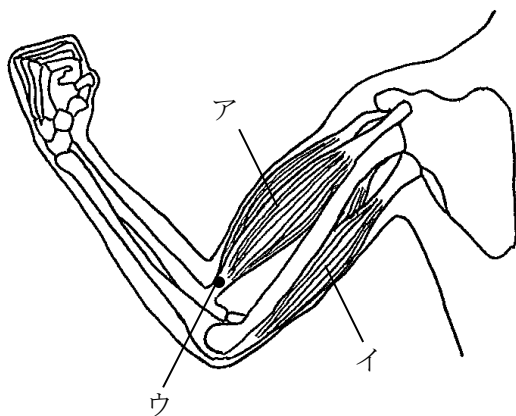
けん きん肉 うで あし **かんせつ 関節** ほね

2 からだに、やわらかい部分とかたい部分を持ち、人のからだと同じつくりになっている動物を2つ書きましょう。(1点×2)

(ウサギ、ウシ、ウマ、チンパンジーなど から2つ)
(フナ、カエル、ワニ、ニワトリ、ハトなどでも可)

3 下の図は、人のうでのほねときん肉のようすを表しています。次の問いに答えましょう。

(1点×3)



(1) うでを曲げたとき、アとイのどちらのきん肉がちぢみますか。

ア

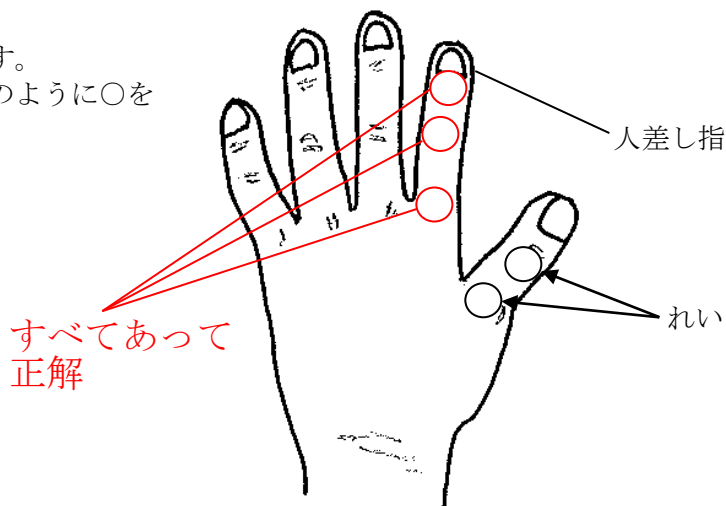
(2) うでをのばしたとき、アとイのどちらのきん肉がちぢみますか。

イ

(3) きん肉とほねをつないでいるウの部分を何といいますか。

けん

4 右の図は人の手を表したものです。
人差し指の曲がる部分を、れいのように○をつけましょう。(全正2点)



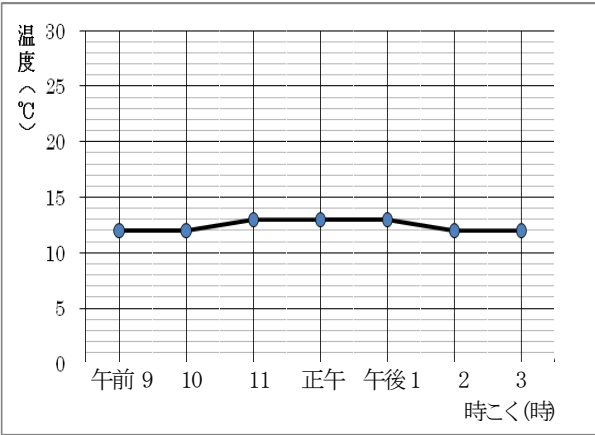
小学校 4 年生 * 単元確認テスト③ *			天気と気温
組	番	名 前	/10 点

1 [] 中のどちらか正しい言葉を 1 つえらんで○でかこみましょう。(2 点)

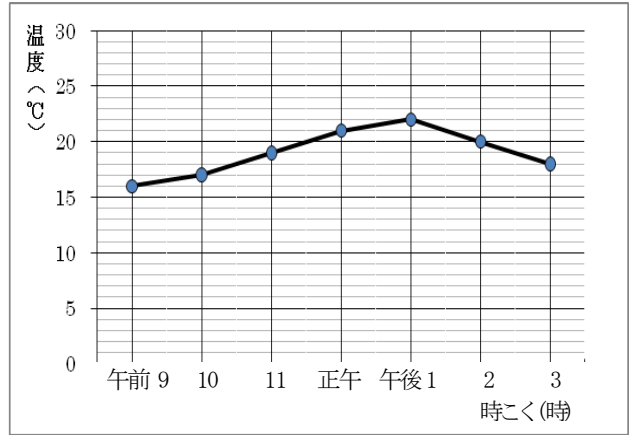
晴れた日の昼ごろの気温は、朝や夕方にくらべると [低い ・ 高い]。

2 晴れの日と雨の日に 1 日の気温の変化を調べました。アとイは、調べた結果を折れ線グラフに表したものです。次の問いに答えましょう。(2 点×2)

ア



イ



(1) 雨の日のグラフは、アとイのどちらですか。

ア

(2) そのように考えたわけを書きましょう。

(午前 9 時から午後 3 時まで、) 気温があまり変わらないから。 など

3 1 日の気温の変化について、次のウ、エのように調べました。正しく調べるために、直せばよいところはどこですか。(2 点×2)

ウ

時刻	気温	調べた場所
午前 10 時	17℃	校庭のサクラの木の下
午前 11 時	19℃	校庭のサクラの木の下
正午	21℃	校庭のサクラの木の下
午後 1 時	22℃	校庭のサクラの木の下
午後 2 時	20℃	教室前ろう下

ウの調べ方で直せばよいところ

(午後 2 時も校庭の桜の木の下で調べるなど、) 全部同じ場所にする。 など

エ

時刻	気温	調べた場所
午前 10 時	17℃	中庭
午前 10 時 30 分	18℃	中庭
正午	20℃	中庭
午後 1 時	21℃	中庭
午後 2 時	20℃	中庭

エの調べ方で直せばよいところ

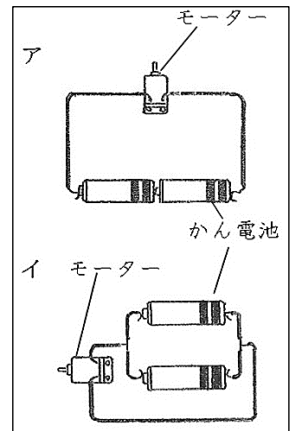
(午前 10 時 30 分を午前 11 時にするなど、) 調べる時間の間かくが同じになるようにする。 など

小学校4年生		*単元確認テスト④*	電流のはたらき
組	番	名前	/10 点

1 電気のはたらきについて、次の問いに答えましょう。(1点×6)

(1) 次の文の にあてはまる言葉を書きましょう。

電気は、かん電池の からモーターを通して、
かん電池の に流れています。この電気の流れを
 といい、その通り道を といいます。

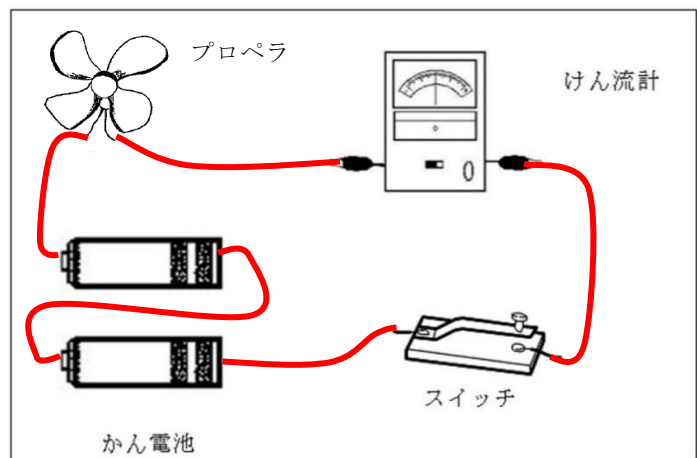


(2) 右の図のア、イのようなかん電池のつなぎ方をそれぞれなんといいますか。

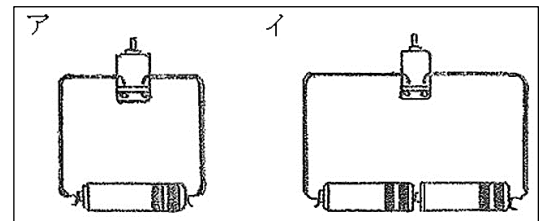
ア

イ

2 右の図のように、プロペラ、かん電池2こ、けん流計、スイッチがあります。
これらを使って、かん電池が1このときよりプロペラが速く回るようにし、その時の電流の大きさを調べられるように線でつなぎましょう。(2点)



3 かん電池2こを右の図のイのようにつなぎます。モーターの回る向きや、はやさは、アのとくらべて、どうなりますか。(1点×2)



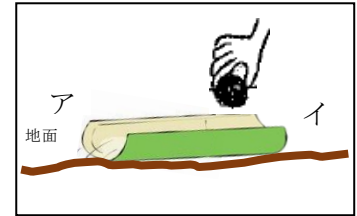
モーターの回る向きは

モーターの回るはやさは

小学校4年生		*単元確認テスト⑤*	雨水のゆくえと地面のようす
組	番	名前	/10点

1 雨水が流れていたところの地面のかたむきや、水たまりとそのまわりの地面のかたむきを調べます。次の問いに答えましょう。

- (1) 右の図のように、地面のかたむきを調べたいところに、紙のつつを切った物を置き、その上にビー玉をそっとのせたところ、ビー玉はアのほうへ転がりました。このとき地面はア、イのどちらが高いと考えられますか。記号で答えましょう。(1点)



イ

- (2) (1)の結果から、雨水はア、イのどちらの方に流れて集まっていくといえますか。(1点)

ア

- (3) 雨水が流れて、それが集まって水たまりができたことから、水たまりはまわりの地面に比べて、高いところにできますか。低いところにできますか。(1点)

低いところ

2 右の図のような実験そう置を用意し、土やすなのつぶの大きさによって、水のしみこみ方にちがいがあるのかを調べました。次の問いに答えましょう。

- (1) 土やすなを入れる植木ばちにガーゼをしくのは、何のためか説明しましょう。(1点)



土やすなが流れおちないようにするため

- (2) 2つの植木ばちにそれぞれ「校庭の土」と「すな場のすな」を入れ、同じ量の水を同時にそそいで、水がしみこむ様子や水が全てしみこむまでの時間を調べました。その結果を表にまとめると、右表のようになりました。

調べる物	つぶの大きさ	水がしみこむまでの時間
校庭の土	とても小さい	5分30秒
すな場のすな	大きい	3分10秒

- ① 水のしみこみ方は、土のつぶの大きい方が速いといえますか、おそいといえますか。(2点)

速い

- ② 通りぬけた水の量は、校庭の土とすな場のすなでは、どちらの方が多でしょう。(2点)

すな場のすな

2 ^{ちかてつ}地下鉄の駅の入り口が、階段などでまわりの地面より高くなっているところがあります。そのわけを、説明しましょう。(2点)

(水は高いところから低いところへ流れるせいしつがあるので)
地下に水が流れこんで集まるのをふせぐため。



小学校4年生		* 単元確認テスト⑥*	暑くなると
組	番	名 前	/10 点

- 1 下のア～エの中で、夏に見られる生きもののようすには○、そうでないものには×を書きましょう。
(1点×4)

ア (☒)
足がはえ、^{りく}陸に上
がったアマガエル



イ (☒)
すずくりをする
ツバメ



ウ (☒)
花のみつをすう
アゲハチョウ



エ (☒)
成虫になった
ナナホシテントウ



- 2 春から夏にかけて、生きもののようすはどのように変わりましたか。正しいものを1つ選び、
() の中に○を書きましょう。(2点)

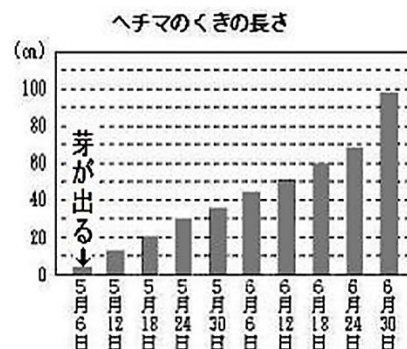
- () 生きものの数が少なくなった。
() 生きもののようすは、ほとんど変わらない。
(☒) 生きものがさかんに活動するようになった。

- 3 ヘチマのくきの長さと5、6月の気温の変わり方を
調べ、グラフにまとめました。次の問いに答えましょう。
(2点×2)

- (1) ヘチマのくきがよくのびているのは、ア～エの
どこですか。記号で答えましょう。

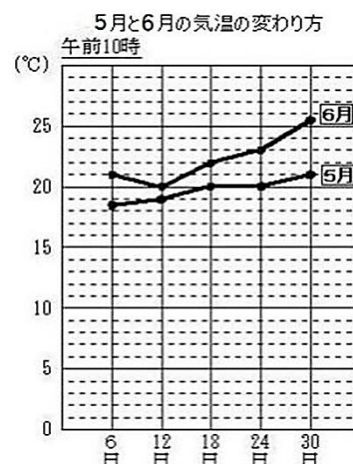
ア 6月 6日～12日
イ 6月 12日～18日
ウ 6月 18日～24日
エ 6月 24日～30日

エ



- (2) 5月にくらべ6月にヘチマがよく成長しているのはどうして
ですか。気温の変わり方のグラフから分かることを書きましょ
う。

5月にくらべ6月の方が気温が高くなっているから。



小学校4年生 *単元確認テスト⑦*			夏の星
組	番	名前	/10点

1 次の（ ）の中の言葉のうち、正しいものを○でかこみましょう。（1点×2）

(1) 星の明るさは、（ ぜんぶ同じ 、 星によってちがう ）。

(2) 星の色は、（ ぜんぶ同じ 、 星によってちがう ）。

2 次の（ ）にあてはまる言葉を書きましょう。（1点×4）

(1) 星をいくつかのまとまりに分け、いろいろなもののすがたなどに見立てて、名前をつけたものを

（ 星ざ ）という。

(2) （ デネブ ）、（ ベガ ）、アルタイルの3つの星を結んでできる形を夏の三角という。

(3) 北の空には、北極星やカシオペアざのほかに、7つの星からなる（ 北と七星 ）が見られる。

3 星ざ早見の使いかたについて、次の（ ）にあてはまる記号を1つえらんで書きましょう。（1点×2）

(1) 星ざ早見を右の図のように合わせたときは、8月17日（ ）に、どんな星や星ざが見られるかが分かる。

- ア 午後7時
- イ 午後8時
- ウ 午後9時

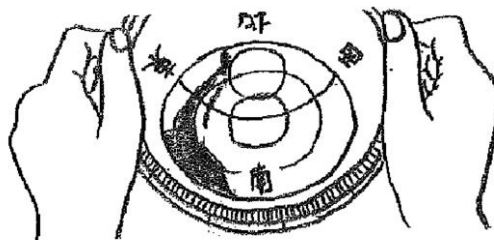
イ



(2) 星ざ早見を右の図のようにもったときは、（ ）の空に、どんな星や星ざが見られるかが分かる。

- ア 東
- イ 西
- ウ 南
- エ 北

ウ



4 次のア～エのうち、正しいものを2つえらび、記号を書きましょう。（1点×2）

ア 星は夜だけ光っている。

イ 星は昼も光っているが、太陽の光が強くて見えない。

ウ 星は雨の日には光っていない。

エ 星は雨の日にも光っているが、雨雲にかくれて見えない。

<u>イ</u>	<u>エ</u>
----------	----------